秋田高校 同窓会だより Vol.108

AKITA HIGH SCHOOL alumni association news

銭谷同窓会長メッセージ

委員会構成・一般会計報告

校長所感 ◎渡部 克宏 氏

●あの頃の思い出 **「陸上部の思い出」** ◎三浦 衛 氏

交差点 ◎瀬戸 泰之 氏

エッセイ ◎京極 雅幸 氏

ズームアップ ◎佐々木 亜里紗 氏、北嶋 友暁 氏

表紙はドローンで撮影した校舎写真を水彩画風のタッチに加工したものです。

秋田県立秋田高等学校　●学校創立　明治6年（1873年）9月1日
●卒業生総数／38,917人（旧制中学7,080人、新制高校31,837人）　●在籍生徒数／815人（男子445人、女子370人）
●同窓会員数／39,385人　●物故者／10,021人　●現会員数／29,131人　［令和2年10月1日現在］
●ホームページ　http://akitahs-doso.jp　●E-mail　aki-doso@cna.ne.jp

同窓会員への
メッセージ

ウイズコロナの時こそ 母校の発展を願い活動
――コロナ禍での今年の同窓会活動――

秋田県立秋田高等学校同窓会会長　銭谷 眞美（昭和43卒）

２０２０年（令和２年）は、２度目の東京オリンピック開催の記念すべき年となるはずでしたが、残念ながら新型コロナウィルス感染拡大の年として記憶されることとなってしまいました。コロナ禍は地球規模で広がるパンデミックとなり、日本も例外ではありません。「三密」を避けるなど「新しい生活様式」が求められ、社会経済活動に大きな影響をもたらしました。学校も一時休校となり、家庭学習、オンライン授業などを余儀なくされました。

秋田高校同窓会も理事会、総会については、開催中止のやむなきに至りました。各支部の総会、年次同期会もこれまで開催できたものは殆どありません。まさに断腸の思いです。

こうした中で、執行部の責任の下、各委員会、事務局のお働きにより、この同窓会だよりの刊行など各般の事業、予算は適切に執行されておりますことをご報告申し上げます。今夏には母校特別教室３室へのエアコン設置寄贈も行いました。

先日、テレビで三重県伊勢市の船江公園にある「東京物語」などの名作で知られる映画監督小津安二郎生誕１００周年記念碑が紹介されていました。その碑には「無常迅速　もう一度中学生になり度いなあ　会い度い会い度い　もう一度中学生になり度いなあ」と刻まれています。小津は、東京に生まれ、小学生の時三重松阪に移り、中学校は、伊勢市の旧制三重県立第４中学校、現在の県立宇治山田高校に進学します。記念碑は宇治山田高同窓会などが中心となり建立し、文言は、小津が伊勢湾台風の翌日同窓生宛に書いた手紙の中にあるようです。

「もう一度中学生（高校生）になり度いなあ」自分を育ててくれた学生時代を顧み、恩師と友人と過ごした時を想い、かえれないあの日にかえりたい、高校時代に寄せる私たちの気持ちそのもののように思いました。

同窓会は、若き日を同じ学び舎で過ごした同窓生が集い相互の交友を深める中で母校の発展を願い応援する場だと思います。

秋田高校は２０２３年（令和５年）に１５０周年を迎えます。ウィズコロナの時ではありますが、同窓会活動の新たな展開を図ってまいりたいと思いますので皆さんのご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

銭谷眞美会長の略歴

昭和 43年　秋田高校卒業
　　48年　東北大学教育学部卒業
　　文部省入省
平成　9年　大臣官房総務課長
　　10年　大臣官房審議官
　　12年　内閣審議官
　　13年　文化庁次長
　　15年　文部科学省生涯学習政策局長
　　16年　初等中等教育局長
　　19年　文部科学事務次官
　　21年　東京国立博物館長、現在に至る
　　27年　秋田高校同窓会副会長
　　30年　秋田高校同窓会会長

ほかに、秋田関係では秋田大学経営協議会委員、秋田公立美術大学経営審議会委員、秋田銀行長活き学校校長など。

天上天下 TENJO TENGE

うその書類を提出し、持続化給付金をだまし取ったとして全国的に逮捕者が続出している。中には「代行業者を通じて、申請すれば簡単に給付金がもらえる」というメッセージアプリの誘惑に負けた―という人も少なくない。指示に従い手軽なネット申請で、本人の口座に持続化給付金１００万円が振り込まれる。6～8割を代行業者に払い、残りのお金を本人が手にすることになる▼新型コロナウイルスの影響で売り上げが減少した個人事業主や中小企業の救済が狙いの持続化給付金。困っている人に、できるだけ速く支給しようと簡素化された申請手続きが、詐欺の絵図を描いた人物らに狙われた。ＳＮＳで知人が知人を誘う形で、ネズミ算式に不正受給の誘惑が広がった▼そして今、不正受給者が続々と逮捕されている。指示する側にとっては想定済み。不正受給した者は捨て駒のような存在なのだ。国は不適切な受給を自ら申し出た場合は制度で決められた加算金等を科さない方針を示し自主返還を求めているが、刑事罰については警察が判断することになる。日進月歩のだましの手口を見破る極意を身に着けたい。

委員会構成《常置委員会・特別委員会》 令和２年10月１日現在

企画委員会		
副会長	佐野　元彦	(昭和49卒)
委員長	佐藤　悦紹	(昭和49卒)
副委員長	小國　輝也	(昭和57卒)
委員	山口　武秀	(昭和49卒)
委員	内藤　克幸	(昭和51卒)
委員	鈴木　真実	(昭和53卒)
委員	堀川ゆみ子	(昭和58卒)
委員	河村　希典	(平成2卒)
委員	髙橋真理子	(平成2卒)
委員	渡部　亮	(平成6卒)
委員	小松　和彦	(平成7卒)
委員	佐藤　寛也	(平成7卒)
学校委員	佐々木裕之	(昭和58卒)
学校委員	菊地　文雄	(平成8卒)
財政委員会		
副会長	三浦　廣巳	(昭和44卒)
委員長	伊藤　茂樹	(昭和42卒)
副委員長	鈴木　明夫	(昭和45卒)
委員	菅原孝次郎	(昭和44卒)
委員	菊地えり子	(昭和45卒)
委員	加納　広明	(昭和53卒)
委員	亀井　哲夫	(昭和53卒)
委員	鶴田　嘉裕	(昭和56卒)
委員	桑原　透	(昭和58卒)
委員	荻原慎太郎	(平成1卒)
学校委員	黒澤　桂一	事務長補佐
学校委員	角崎　綾子	(平成4卒)
名簿委員会		
副会長	佐野　元彦	(昭和49卒)
委員長	越中谷孝一	(昭和59卒)
副委員長	岡本久美子	(昭和52卒)
副委員長	伊多波未来	(昭和59卒)
副委員長	林　徳彦	(平成11卒)
委員	田近　吉彦	(昭和50卒)
委員	福岡　健	(昭和51卒)
委員	佐藤　正尚	(昭和55卒)
委員	伊藤　渉	(昭和59卒)
委員	佐竹　久美	(平成3卒)
委員	那波信太郎	(平成3卒)
委員	鈴木　孝友	(平成4卒)
委員	二木　佳奈	(平成27卒)
学校委員	佐藤　真弓	(昭和60卒)
学校委員	澁谷　明人	(平成1卒)
広報委員会		
副会長	辻　良之	(昭和50卒)
委員長	菅原　貢	(昭和50卒)
副委員長	梅井　一彦	(昭和49卒)
副委員長	島﨑　正実	(昭和51卒)
委員	三浦　亨	(昭和59卒)
委員	須磨　武	(昭和60卒)
委員	戸田　貴之	(昭和61卒)
委員	三浦美和子	(平成6卒)
委員	佐藤　朋子	(平成7卒)
委員	佐々木竜太	(平成8卒)
学校委員	打川　史子	(平成4卒)
学校委員	高橋　大	(平成8卒)
ホームページ委員会		
副会長	中村　順子	(昭和50卒)
委員長	武内　伸文	(平成2卒)
副委員長	諸井　忠道	(昭和61卒)
委員	寺田美和子	(平成08卒)
委員	北林　陽児	(平成12卒)
委員	菅原　崇人	(平成14卒)
委員	武藤　元貴	(平成20卒)
学校委員	山田　晋	(平成4卒)
学校委員	沢田石　智	(平成19卒)
150周年記念誌編集特別委員会		
副会長	中村　順子	(昭和50卒)
委員長	半田　和彦	(昭和36卒)
副委員長	加賀谷真澄	(平成1卒)
委員	池田　憲和	(昭和40卒)
委員	京極　雅幸	(昭和49卒)
学校委員	伊藤　真	副校長
学校委員	中嶋　修子	―
学校委員	富樫　良恵	(昭和57卒)
学校委員	坂本　公正	(平成6卒)
学校委員	牧　留美子	(平成6卒)
学校委員	菅野　愛	(平成11卒)
新先蹤録編纂特別委員会		
会長	銭谷　眞美	(昭和43卒)
委員長	畠山　茂	(昭和43卒)
副委員長	武藤冨士雄	(昭和43卒)
副委員長	豊嶋　司	(昭和44卒)
委員	相馬　高道	(昭和51卒)
委員	内藤　克幸	(昭和51卒)
委員	田口　清洋	(昭和54卒)
選考委員	澤井　範夫	(昭和41卒)
選考委員	柴田　義弘	(昭和41卒)
選考委員	北林真知子	(昭和45卒)
選考委員	武内　伸文	(平成2卒)
郷土創生特別委員会		
副会長	三浦　廣巳	(昭和44卒)
委員長	佐藤　裕之	(昭和55卒)
副委員長	武内　伸文	(平成2卒)
委員	藤盛　節子	(昭和43卒)
委員	伊藤　新	(昭和55卒)
委員	百瀬　和	(昭和56卒)
委員	猿田　和三	(昭和57卒)
委員	金子　敬司	(昭和63卒)
委員	相沢　陽子	(平成4卒)
委員	小玉　康明	(平成4卒)
委員	長谷川　敦	(平成4卒)
委員	北嶋　友暁	(平成9卒)
委員	林　徳彦	(平成11卒)

一般会計報告（同窓会事務局）

令和2年度　一般会計　予算書

〈収入の部〉　（単位千円）

項目	予算額	前年予算額	増減
入会金	1,958	1,980	△ 22
会費	11,000	11,000	0
協賛広告費	500	500	0
会議収入	1,000	1,500	△ 500
雑収入	441	473	△ 32
繰越金	2,590	3,697	△ 1,107
収入合計	**17,490**	**19,150**	**△ 1,660**

〈支出の部〉

項目	予算額	前年予算額	増減
事業費	4,660	5,160	△ 500
だより発行費	2,300	2,400	△ 100
母校協力費	1,050	1,100	△ 50
新入会員歓迎費	700	600	100
年次強化費	50	100	△ 50
ホームページ維持費	100	100	0
資料室運営費	100	500	△ 400
広告費	60	60	0
羽城館維持管理費	300	300	0
会議費	1,850	2,800	△ 950
総会費	900	1,200	△ 300
運営委員会費	400	800	△ 400
委員会費	250	300	△ 50
支部関係費	300	500	△ 200
事務費	8,340	8,110	230
給料・手当	2,400	2,400	0
消耗品費	160	180	△ 20
印刷費	30	30	0
通信費	4,500	3,700	800
手数料	800	1,050	△ 250
機器運営費	150	250	△ 100
旅費・交通費	300	500	△ 200
基金	0	1,000	△ 1,000
同窓会基金	0	1,000	△ 1,000
雑費	80	80	0
慶弔費	50	50	0
雑費	30	30	0
予備費	2,560	2,000	560
予備費	2,560	2,000	560
支出合計	**17,490**	**19,150**	**△ 1,660**

令和元年度　一般会計　決算報告書

〈収入の部〉　（令和2年3月31日現在 単位千円）

項目	予算額	決算額	増減
入会金	1,980	1,958	△ 22
会費	11,000	10,862	△ 138
協賛広告費	500	515	15
会議収入	1,500	1,252	△ 248
雑収入	473	366	△ 107
繰越金	3,697	3,697	0
収入合計	**19,150**	**18,650**	**△ 500**

〈支出の部〉

項目	予算額	決算額	増減
事業費	5,160	4,818	△ 342
だより発行費	2,400	2,292	△ 108
母校協力費	1,100	1,005	△ 95
新入会員歓迎費	600	679	79
年次強化費	100	31	△ 69
ホームページ維持費	100	77	△ 23
資料室運営費	500	544	44
広告費	60	55	△ 5
羽城館維持管理費	300	135	△ 165
会議費	2,800	2,310	△ 490
総会費	1,200	905	△ 295
運営委員会費	800	812	12
委員会費	300	256	△ 44
支部関係費	500	337	△ 163
事務費	8,110	7,852	△ 258
給料・手当	2,400	2,350	△ 50
消耗品費	180	160	△ 20
印刷費	30	0	△ 30
通信費	3,700	4,010	310
手数料	1,050	805	△ 245
機器運営費	250	78	△ 172
旅費・交通費	500	449	△ 51
基金	1,000	1,000	0
同窓会基金	1,000	1,000	0
雑費	80	80	0
慶弔費	50	51	1
雑費	30	29	△ 1
予備費	2,000	0	△ 2,000
予備費	2,000	0	△ 2,000
支出合計	**19,150**	**16,060**	**△ 3,090**

『一般会計 決算・予算』概要説明

①令和元年度決算

収入

・会費は前年並みの入金状況。会議収入予算比減は総会等出席者の減少による。雑収入予算比減は発送代行の減少。

支出

・概ね各経費とも予算比減で推移。新入会員歓迎費予算比増は卒業記念品USBの単価上昇による（8ギガUSB）。

・総会費予算比減は、上記出席者減による。

・通信費予算比大幅増はゆうメール（郵便料）の大幅引き上げによる。（更に大幅増となれば、対応策検討要）

・手数料予算比減は、ゆうちょ銀行払込手数料引上げがそれほど負担増にならなかったことによる。

② 令和2年度予算

収入

・概ね前年並みに推移として算定。

支出

・運営委員会及び理事会を各々１回の開催で算定。

・次年度繰越金を250万円程度確保することを前提に支出を極力抑える方針で算定。

・資料室運営費の前年予算比△40万円は前年Windows10へ切替えのためパソコン2台更新したことによる。

・次年度繰越金250万円程度確保のため、今年度は基金への繰入を行わないこととする。

交遊

還暦迎えて耳順い、志立つ

東京大学医学部附属病院長　瀬戸 泰之（昭和52卒）

このような機会をいただき、誠にありがとうございます。2年前に還暦を迎えました。秋田高校を卒業して早44年経ったことになります。当時、秋田高校は自由な気風にあふれ、かつ文武両道で全国に名を馳せる素晴らしい学校でした（今も変わっていないと思っています）。あらためて感謝申し上げます。

さて、孔子「論語」では、「六十にして耳順う」とあり、他人の意見に素直に耳を傾けられる年代になったということです。ただ、孔子が生きたのは紀元前500年前後で現在とは平均寿命が違います。その当時の平均寿命は30―40歳くらいと考えられるので（現在、男性81歳）、換算すると、今小生は「論語」時代では30歳相当ということになります。となると「三十にして立つ」という年代に相当します。まだまだ、これからといったところでしょうか。

写真①東大病院全景。右下の黒破線内は大正14年（1925年）に完成した通称「赤レンガ」

還暦を迎え、昨年4月、東京大学医学部附属病院長を拝命いたしました。東大病院（写真①）＝以下、当院＝は、入院ベッド1200床、1日外来患者数2800人、年間手術件数11，000件、職員数4000人を超えるわが国有数の大学病院で、160年以上の歴史を有しています。大学病院のミッションは診療、教育、研究の3本柱であり、どれも怠ることは許されません。当院は、全国でもトップの臓器移植を行っております。ほか、ゲノム医療をはじめとした高度医療を行いつつ、東京都において小児医療センターや周産期医療センターなどの中核を担う機能も有しています。実に多彩な老若男女が集う空間となっています。その中で、患者さんファーストの、いかにいい診療を行えるか日々葛藤している毎日です。そのような中、昨年からNEWSWEEKが選ぶ世界のWORLD'S BEST HOSPITALSに入れていただけるようになりました（写真②）。実に誇らしく、職員一同、また病院を支えてくれている患者さん含め、すべての方々に深謝しているところですし、何とか今後も維持していきたいと考えているところです。そのためにも、現場の声、患者さんやご家族からのご意見に積極的に耳を傾けています。やはり、「六十にして耳順う」といったところでしょうか。

写真②　病院長室にて。左下はNEWSWEEK誌より

今年は何と言っても新型コロナウィルス抜きにしては語れません。多くの領域で甚大な影響がでています。もちろん医療業界も例外ではありません。重症症例の多くは大学病院で治療を受けていますが、その中でも当院は、全国でも5番目に多い重症症例の診療を行っています（中等症の治療も行っています）。その治療を行いつつ、いかに臓器移植などの高度な医療を同時に行っていくか、当院でも大きな課題となりました。そのような環境下、いまだ院内感染ゼロを維持できており、これもまた誇らしいことだと感じています。やはり、ヒトこそが大切であり、知恵をだしあい、それをまとめていくことが肝要であることは間違いありません。あらためて、病院長として、「六十にして耳順い、六十にして立つ」ことこそ重要であると感じ入る次第です。

Profile

せと・やすゆき／1958年秋田市生まれ。東京大学医学部卒。医学博士。1964年東京大学第一外科入局。関東労災病院、中通総合病院、国立がんセンター中央病院、癌研有明病院などを経て、2008年東京大学医学部消化管外科教授。2019年東大病院長に就任し現在に至る。この間、外科系学会社会保険委員会連合会長補佐、日本消化器外科学会理事長、National Clinical Database代表理事を務める。

校長所感

コロナ禍に負けぬ生徒ら 伝統の力がバックアップ

秋田高校校長
渡部 克宏（昭和55卒）

4月から校長としてお世話になっております渡部克宏です。教員として秋田高校勤務は二回目となります。どうかよろしくお願いいたします。例年であれば総会や支部の会等でご挨拶申し上げるところでありますが、今年はそれがままならず大変心苦しく思っております。

さて、まずは同窓会の皆様にお礼を申し上げます。3月以降、社会全体が新型コロナウイルスで揺れ動きました。ようやく5月11日に学校が再開されましたが16日間授業ができず、その分、夏休みを少々削って授業を行うことにしました。暑い中での授業を乗り切るために県教育委員会では3年生のホームルーム教室にエアコンの設置を決めましたが、解体授業等で多くの教室が必要となるため、実際にはそれだけでは足りません。どうしたものか悩んでいたところ、同窓会の皆様のご厚意で3教室へエアコンを設置していただくことができました。これまでも様々な面で学習環境整備にご協力いただいていましたが、重ねてのご支援に対してこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。「快適に勉強できる」と生徒には大好評で、おかげさまで成績アップまちがいなし?と期待が膨らんでいます。

今年度に入ってから首都圏では臨時休業が数カ月に及んだようですが、本県では幸いなことに3週間程度で済みました。しかし、それでも学校再開直後は社会を覆う不安感や運動不足による体力低下が原因で体調を崩す生徒もおりました。

三大行事のうち夏休み明けの学級対抗は予定どおり実施できましたが、4月の運動会、7月初めの秋高祭は中止となりました。三大行事が定着して以降、おそらく初めてのことではないかと思っています。

新入生にとっても4月、5月は応援練習を含め様々な行事や活動を経験し、秋高の伝統をシャワーのように浴び、大きく変容していく時期であります。それが失われたのは残念なことであり、それをどのように取り戻していくかが今後の課題だと感じています。

また、全県総体、インターハイ、甲子園もなくなり、大会を目標にしてきた3年生にとってはつらいものがありました。しかし彼らはしっかりと現実を受け止め、そして前向きに次の一歩を踏み出しました。

日本中が先行き不安に陥っている中で大人たちの見苦しい言動が目立ちましたが、秋高生は物事に動じず状況に振り回されることなく、実に落ち着いて冷静に対応してくれました。彼らの理性的な立ち居振る舞いに、150年の伝統の力と将来への希望を見いだすことができたと思っています。

世界は今、新型コロナウイルスを始め多くの課題を抱え、秋田も少子高齢化などの難題に直面しています。そうした課題に向き合い、問題意識を深めながら、自分の生き方に重ねて考えることのできる若者を育てる学校でありたいと思っています。

来年は着装自由化から50年となります。今の生徒にとっては当たり前のように存在する「着装の自由」ですが、改めてその原点を確認し、今日的な意義を考える契機にしなければならないと思っています。そして、3年後の2023年には本校は創立150周年を迎えます。過去を振り返り、現在の立ち位置を確認し、未来を展望するために、どのように節目をつくっていくかを考えていきたいと思います。

今後ともご支援ご協力よろしくお願いいたします。

わたなべ・たかひろ／昭和36年秋田市生まれ。昭和59年筑波大学を卒業、矢島高校笹子分校で教員生活をスタートし、秋田高校、秋田北高校で勤務。知事公室秘書課、高校教育課等での勤務の後、平成28年秋田中央高校校長。その後、高校教育課長、県教育次長を経て令和2年から秋田高校校長。

高清水
杜氏と蔵と革新力。
秋田酒類製造株式会社
秋田市川元むつみ町4-12
取締役社長 平川 順一（昭和50年卒）
専務取締役 古木 吉孝（昭和48年卒）
常務取締役 廣島 一朗（昭和54年卒）

あなたの暮らしを応援します……
辻兵商事株式会社
代表取締役社長 辻 良之（昭和50年卒）
専務取締役 吉田 進（昭和54年卒）
常務取締役 進藤 忠宏（昭和50年卒）
〒010-0921 秋田市大町二丁目4番32号
TEL.018-864-0215 FAX.018-862-1664
http://tsujihyo.com

ISUZU
秋田いすゞ自動車株式会社
代表取締役社長
辻 良之（昭和50年卒）
秋田市寺内字蛭根85−7
TEL.018−862−6601㈹
http://www.akita-isuzu.co.jp

石田歯科医院
《診療時間》
平日 9:00〜12:30 14:00〜18:30
土曜 9:00〜13:00
日曜・祭日 休診
院長 石田 達郎（昭和50年卒）
副院長 石田 貴洋（平成15年卒）
秋田市南通亀の町5−7
TEL.018−832−5482

Essay エッセイ

記憶する装置 あるいは呼び覚ます装置

あきた文学資料館　副館長　**京極 雅幸**（昭和49卒）

きょうごく・まさゆき／東洋大学文学部卒。同大学大学院文学研究科修了。1983年4月、秋田県立高校教諭に採用され、以後6校の高校および県総合教育センターに勤務する。2016年3月、定年退職。同年4月、県立図書館勤務。あきた文学資料館担当の副館長となり現在にいたる。2016年3月より秋田市雄和女米木（めめき）にある俳人石井露月の顕彰団体「露月会」会長も務めている。秋田市出身。

本欄は、各分野の新進気鋭の同窓生が、最新の情報と溌溂たる人生を語る場だと思っていた。間もなく高齢者になる自分でいいのかと思いながら、今の職場の宣伝になるかなと考え、寄稿するようにという友人の勧めに敢えて寄り切られてみた。

今わたしは、あきた文学資料館に勤務している。高校教員を定年退職した後の第二の職場である。場所は秋田市中通六丁目、旧秋田東高校の校舎の一部を利用してつくられた施設である。秋田県立図書館の分館として平成十八年四月二十八日に開館し、今年十五年目を迎えた。この間に、収蔵した資料の総数は八万点を超える。ただし、資料はすべて寄贈されたもので、購入したものはない。

あきた文学資料館

資料館の資料八万点のうち、開館後の五年間にその八十％を収蔵し、その後の十年間は、年間平均一千八百点程度で推移している。近年集まっているものの数は多くないが、明治から現代にわたり本県で活躍した文学者の自筆資料や旧蔵資料が多い。開館の目的に、秋田ゆかりの文学者の貴重な資料の散逸を防ぐということがあり、それに照らして喜ぶべきことと考えている。

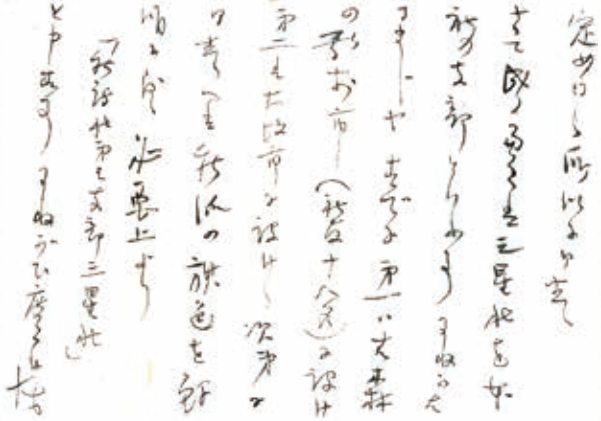
当初、秋田の文学とはどのようなものか、なぜ保存しなければならないのか、腑に落ちなかった。そんなとき手にしたのが、明治三十三年四月二十二日付けの与謝野鉄幹から佐々木寛綱（かんこう）に宛てた書簡であった。寛綱は雄勝郡三輪村に三星社という詩歌の結社を発足した。書簡には、「新詩社第三支部三星社と申す事にねがひ度く候（たそうろう）」とある。鉄幹晶子の東京新詩社の傘下に、第三支部として入るよう誘う内容である。

明治四十四年一月五日付けの後藤宙外宛て夏目漱石書簡を手にしたときのことも忘れられない。前年十二月に春陽堂を退社した宙外を慰藉する書簡である。あの漱石と宙外に親交があったことも驚きであったが、今から百年以上も前に漱石が触れたものに直に触れている不思議はことばにならなかった。

これらの体験は、自分の文学史の知識に照らして思いも寄らないことであった。地方と中央との関係が思いの外密接であること、文学の革新が躍動感に溢れたものであること、それに秋田人がかかわっていること。

漱石のように多くの人々の記憶に残る存在は稀有だ。だが、近代以降の秋田人が、この風土の中で書き残した資料を収集保存することで、それらの人々とその営為は記憶に残り、命は続くだろう。あきた文学資料館は、本県の文学の歴史を記憶する装置として、あるいは記憶を呼び覚ます装置として機能するに違いない。そこに多くの県民が集まり知的なサロンとして親しまれ、あるいは児童生徒のまなびの場となれたなら素敵である。

同窓の皆さんにはぜひあきた文学資料館にお出でいただきたい。また、取り返しの付かない資料の収集にご協力いただければ幸いである。



明治33年4月22日付佐々木寛綱宛与謝野鉄幹書簡

ZOOM UP!

きたしま・ともあき／1978年秋田市生まれ。埼玉大学中退後、2007年に秋田に帰りマティログの名でテレビ、ラジオへの出演またCMナレーションやイベント司会など秋田を拠点に様々なメディアで活動。2018年4月に自身が代表取締役を務めるファイオン株式会社を設立。芸能活動で培った人脈やスキルを生かしイベント企画、動画製作、オンライン番組配信などを手掛ける。

汝、何の為に其処に在り也

北嶋 友暁（平成9卒）

『汝、何の為に其処に在り也』

これは私が高校在学時の校長である松岡正樹先生が全校集会などで言っていた言葉です。そして私が秋田高校三年生の時の文化祭テーマソングとして作った曲名でもあります。中学生の時から人前で何かパフォーマンスすることが好きだった私は軽音楽同好会に入り「Crystal」というバンドを結成。この曲を披露した夜祭のことは今でも鮮明に覚えています。

高校卒業後も埼玉大学に通いながら音楽活動をしていました。大学でもサークルを7つ作ったり、大学外のイベント企画やMCをしたりと、この頃から自分から何かを創り、仕掛けていくことが好きだったように思います。

2007年に秋田に帰り、埼玉で培ったスキルを生かし秋田の活性化の為に芸能活動を続けていくぞと意気込むもマティログを知る人は少なく、最初の頃はバイトをしながら音響の手伝いや地元のお祭りの司会など、とにかくがむしゃらに色んなことをやらせていただきました。いつの頃からか芸能の道のみでご飯が食べられるようになり、今はABS秋田放送のラジオ番組『エキマイク』や、テレビ『まこ社長のマイホームよろず話テレビ版』などにレギュラー出演しています。

芸能活動を続け、さまざまな職業の人に出会う中で何のためにこの仕事をしているのか、この仕事だけでやっていけるのか?何のために秋田に帰ってきたのか?と、自問自答することも増えました。

そこで仕事を依頼される側から仕事を依頼する側になろうと40歳になった2018年にファイオン株式会社を設立しました。会社設立から2年が経ち、2020年は新型コロナウィルスの影響により生き方、そして仕事のあり方を大きく変えなければいけなくなりました。

そこで私は以前から注目していたインターネット配信に力を入れ、秋田民謡や演劇などのオンライン配信、スポンサーをつけた秋田の企業をフィーチャーした情報番組の配信、各種イベントのオンライン配信など私にしかできない秋田の魅力がたくさん詰まった新しいエンターテイメントの在り方を追求しています。仕事の中で秋田高校の先輩、後輩に出会うことも多く、改めて秋田高校の偉大さを感じています。

『汝、何の為に其処に在り也』そう問われた時、秋田の未来の為に此処に在り続けたいと答えられる自分でありたいです。

秋田の県民球団をめざして

佐々木 亜里紗（平成13卒）

学生時代から“言葉には力がある”と信じています。祖父の影響で日本語の面白さを知り、英語と出会ってからはその魅力にどんどん引き込まれました。言葉に携わる仕事をしようと思い、高校・大学と進路を決めました。上京し、大学卒業後にイギリス留学を経て8年ほど翻訳の仕事をしていました。基本的には活字にまみれていたい派なのですが、コミュニケーションにおける言葉の役割にも興味が生まれ、日本語教員の資格も取得しました。そんな私がなぜ今プロバスケの仕事をしているのかとよく尋ねられるのですが、その答えは“言葉に携わることができる”からです。広報として翻訳や英語を使う場面もあり、日本語を指導する機会もあり、これまでの経験を生かすことができています。

スポーツの魅力は一目みれば伝わるじゃないかと考える方もあるかもしれません。私自身、スポーツや音楽、写真や絵画など言葉がなくても心に響くものもとても好きで人生には欠かせないと思えるほど力をもらってきました。でもプロスポーツはビジネスです。入場料がある以上“一度観てもらう”までには高いハードルがあります。私たちはただバスケを観戦するだけでなくアリーナ空間とそこで過ごす時間を楽しんでもらうことを目指していて、一度来たらきっと満足していただけるという自信があります。しかし県内でもホームゲームを観たことがない方がまだまだ大勢。もっと言えば県外在住の秋田出身者にはチーム名さえ知られていないことも。広報の任務はこうした状況を少しずつ変えていくことです。今はSNSも普及し、動画の時代とも呼ばれていますので単純に“伝わる言葉=文章”とは考えていません。メディアを通して、オウンドメディアを活用して、ファンに思いを届けるのはもちろん、更にファンを増やすにはどうすればいいのか。日々考え、挑戦しています。挑戦といえば私は昨年7月から都内を拠点としてクラブ広報の幅を広げるべく活動しています。この半年で状況が一変し、思うように動けないこともありますが今できることを模索しながら前向きに進んでいます。

「動けば変わる」これは秋田ノーザンハピネッツ水野社長のモットーです。まさに言うがやすし…ですが、本人が体現していく姿を目の当たりにしている私にとっては非常に力強く、モチベーションを上げてくれる大切な言葉です。

ささき・ありさ／1982年秋田市生まれ。津田塾大学学芸学部英文学科卒。都内の放送局にて主に国際ニュース、ドキュメンタリー番組などの翻訳業務を経験。2015年より秋田市をホームタウンとする男子プロバスケットボールチームを運営する秋田ノーザンハピネッツ株式会社広報担当。秋田ノーザンハピネッツは2010年当時のbjリーグに参入。2016年に男子プロバスケリーグ統一により誕生したB.LEAGUEのB1（1部リーグ）に所属。

あの頃の思い出 7

二宮金次郎、走る

陸上部の思い出

三浦　衛（62）＝昭和51卒

みうら・まもる／東北大学経済学部卒業。神奈川県内の私立高校で社会科教諭を7年間務めた後、東京都内の出版社に勤務。1999年、仲間二人と春風社を創業。人文系の学術書を中心に現在（2020年）まで約800点を出版。著書に『出版は風まかせ』『父のふるさと　秋田往来』『石巻片影』、詩集に『カメレオン』『鰰 hadahada』、分担執筆の書に『新井奥邃――公快共楽の栄郷を志向した越境者』など。井川町出身。

秋田高校に入学できたことを、いちばん喜んでくれたのは、平成10年に88歳で亡くなった祖母だったかもしれない。貧しい農家で育ち、小学校にも行けず、13の歳から奉公に出された。奉公先の子息が早稲田大学在学中で、休暇で帰省した折に、平がなと片かなを、彼から教わった。私が秋高に通うようになって少したったころ、祖母は、秋田市にあった山田旅館の女将さんから私への贈り物だといって、新聞紙にくるまれたものを差しだし、目の前で開けて見せてくれた。二宮金次郎の像だった。山田旅館は、祖母が若いころ勤めに入ったところで、辞めたあとも、用事があれば、女将さんから呼び出され、泊りがけで数日手伝いに行った。薪を背負い、開いた書物に目を落とす金次郎の像は、いまも本棚にある。ある詩人が言った。時は流れない。降り積もる。

思い出は過ぎ去らず、降り積もる雪の下で、新しいいのちが人知れず育まれるように、いまの時を支え、未来への光源となって、背中をやさしく押してくれる。

高校時代、秋田市の山田旅館の女将さんから頂いた二宮金次郎の像。今も本棚にある

教科書を破って丸めバトンに

中学時代、運動部に所属していなかった私は、からだを鍛える目的で、毎朝、2キロほどの距離を走っていたから、高校入学後、本格的に陸上競技をやりたいと思って陸上部に入部したのは、自然の成り行きだった。授業が終わってからの練習は、家の近くを走るのとは違って、息が上がり、へとへとになった。くたびれて、もうろうとする視界の中を、F先輩はさっそうと走ってゆく。先輩に親しみ、いろいろ話をするようになった。土崎から毎日走って通学するとのことで、教科書は、その日授業で使うページ分を切り離し、くるくる巻いてバトンにした。

及川医院
OIKAWA CLINIC
内科 内視鏡内科 胃腸内科
院長 医学博士 及川 圭介
（昭和60年卒）
〒011-0947 秋田市飯島新町3-1-20
Tel 018-845-3579 Fax 018-827-3580
www.oikawaiin.com

山内歯科
YAMANOUCHI DENTAL AND ORTHODONTIC OFFICE
矯正歯科
秋田市更正・育成医療病院
秋田県顎口腔機能診断施設
日本矯正歯科学会 臨床研修機関
ヤマノウッチ!
日本矯正歯科学会 認定医・臨床指導医 山内 積
（昭和60年卒）
018-832-5252
www.yama-ortho.info

みやざわペインクリニック
Miyazawa Pain Clinic
院長 宮澤 一治
（昭和60年卒）
秋田拠点センター アルヴェ4階

もっと、秋田が好きになる。
ABS秋田放送
代表取締役社長 立田 聡
（昭和50年卒）
本社：秋田市中通七丁目1番1-2号
TEL 018-826-8533（総務部）

走る二宮金次郎！　写真は、象潟での春合宿の際に撮影したもので、三年生は参加しておらず、F先輩は写っていない。一列目中央は、顧問の三船新次先生だ。象潟合宿の折ではないが、秋田高校の校舎に併設された合宿所で行った合宿の際、三船先生から受けた注意がいまも忘れられない。連日の朝練、午前と午後の練習でへたばり、からだが土嚢のようにずっしりと重く感じられるようになったころ、朝練の集合時刻に遅れる生徒が数名いた。私もその中にいたと思う。全員が集まったとき、三船先生は、静かに、しかし、厳しい口調でおっしゃった。「そういうところが君たちの弱いところだ。勉強ができてここに来たのだろうけれど、6時集合となったら、6時に集合する。理屈は不要」。三船先生は、走るフォームがかっこよかった。運動会のマラソンでは、運動部のつわものどもを尻目に、トップでゴールした。

写真には畏友I君も写っている。F先輩と同じく、彼も土崎出身。からだが硬く、柔軟体操をすると、屈伸の際、90度を超えて曲がらぬ姿に大笑いした。別れ際に彼は「せば」と言った。私の地元では「へば」と言う。

私としては、相当がんばったつもりだったが、100メートルの自己ベストは12秒3。短距離を専門としていた者としては、自慢できない記録だ。三つ下の弟は、私が卒業した後で同じ部に所属し、11秒3の記録を出した。100メートルで1秒ちがえば、ゴールで10メートルはちがう。弟に頭が上がらない。

昭和49年3月、象潟青年の家(ユースホステル）前、前列左から三人目が三船先生、二列目左端が筆者

思い出す恩師の静かな語り

江戸時代の紀行家・菅江真澄について話してくれたのは、一関吉見先生。真澄のファンだったのか、文章を朗読してくださった後、シーンとなった教室で、凡そ次のように話された。「きみたちに、いま、菅江真澄の好さを判れといっても無理かもしれない。しかし、歳をとり、いろいろ経験した後で、そういえば、高校の国語教師が菅江真澄についてなにか言っていたなと思い出すことがあったら、真澄の文章を読んでみるといい。好さがしみじみ判ってくるだろう…」

横浜で出版社を起こして11年後、帰省した折、足を延ばして十和田湖を訪れたことがあった。紅葉前のことであった。観光客は少なく、しかし幻想的な湖畔のたたずまいと奥入瀬のせせらぎ、木立から漏れて降り注ぐ光は、五感を通して深く沁み入った。二百年前に、この地を真澄が徒歩で訪れたことを知り、一関先生の静かな語りを思い出した。『菅江真澄遊覧記』を開くたびに、静かな時の声を聴く。風景を動くのは人間。まことに、時は流れない。垂直に降り積もり、心象の風景を育みながら、万葉の歌人が歌ったように、今日降る雪のいやしけ吉事と降り積もる。

奥入瀬や橡の実拾ふ子らの声
暮れなずむ秋の湖畔の乙女の像

東京海上日動あんしん生命
CFP®
(日本FP協会会員ファイナンシャルプランナー)
寺田 幸司（平成7年卒）
〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央2-8-16
仙台東京海上日動ビルディング11F
TEL.022-262-0633 FAX.022-262-0644
携帯：090-7667-5169

米山消化器内科クリニック
YONEYAMA CLINIC
院長
米山和夫
（昭和60年卒）
〒010-1414 秋田市御所野元町1-1-1
フレスポ御所野B棟2F
TEL：018-853-1531
FAX：018-853-1521

弁護士法人
近江法律事務所
弁護士
近江直人（昭和60年卒）
弁護士
森田祐子（平成9年卒）
〒013-0051 横手市大屋新町字大平593-1
TEL.0182-33-3238 FAX.0182-33-2753
https://www.omi-lo.com

社会保険労務士
舘岡英樹事務所
社会保険労務士
舘岡英樹（昭和60年卒）
秋田市川尻みよし町7-6 〒010-0945
TEL 018-883-0427 FAX 018-883-0428
E-mail:tateoka@sret.biz

つどい TSUDOI

学生時代へタイムスリップ

関東在住昭和34年卒有志同期会

2019年7月8日昼間、関東在住34年卒有志が新宿のレストラン「ライオン」へ集まった。その日は快晴で絶好の飲み会日和。傘寿一年前の79歳勢揃い。まだまだこれからと意欲満々の面々……。

顔ぶれは西木正明（直木賞作家）、木村興治（全日本テコンドー協会会長及び国際卓球連盟会長アドバイザー）、小出茂（ハワイアン歌手）、前島（旧姓 嘉藤）洋志（歯科医師）、鈴木陸雄（団体役員）、豊島澄男（会社役員）、佐藤紀英（団体役員）、保坂治夫（旧 日石）の総勢8人。

みんな元気ですよ。

今回は4～5年ぶりの集まりであったが、顔を合わせればすぐに学生時代へタイムスリップして始終笑顔で懐かしい話に笑いとうれしさはお酒も食事も進み、会食時間はあっという間。

多少の体調不良や薬の説明会自慢も後半あったりしたが、10代を共にした学友たちと集える有り難さ幸せはかけがえのない大切な仲間だね。

みんな進んでいる道はさまざまであるが、我ら秋高生徒はあの時学んだ全てが今も前進して上昇真っ只中だ。この世の中リモートワークで仕事が捗る時代に乗り遅れてはいませんよ!パソコン、スマホ、Wi-Fi、ウーバーイーツ……きょうも足元に気をつけながら走ってます!　（小出 茂 記）

新たに制作した会旗を披露

紫紺の会

令和2年度の総会を、5月16日、秋田市の協働大町ビルで開催しました。開催の可否については慎重に検討を重ねていましたが、緊急事態宣言の一部解除を受け、日中のゴルフコンペとともに予定通りの日程で開催することを決定しました。

同窓会の畠山茂 新先蹤録編纂特別委員長を来賓としてお迎えした総会では、先の見えない状況ながら今年度の活動計画等を可決。母校や同窓会への協力体制、若手会員の活躍を促す策についても話し合われました。また、総会前には、新たに制作した会旗が披露されました。

総会後は感染防止に配慮しながらの懇親会に移り、自粛が続いた酒席の雰囲気を味わいながら、母校への思いを語り合いました。　（保坂 尚吾＝昭和55卒 記）

「つどい」投稿について

❶「つどい」欄への投稿は毎回多数にのぼるため、スペースの制約からやむを得ず、原稿を短縮したり次号に回すことがあります。**原稿は概ね400字（原稿用紙1枚）**を目途にお願いします。
❷原稿の最後に執筆者名（支部等にあっては卒業年次も）をお忘れなく。
❸投稿いただいた原稿、写真はお返ししません。どうぞご了承ください。〈広報委員会〉

School Topics　スクールトピックス

繋がりの中で

3年　塩畑 逸貴

8月に開催された第44回全国高等学校総合文化祭（2020こうち総文）放送部門アナウンス部門で、最高賞である優秀賞を受賞した。テーマは「郷土の話題」。秋田市大森山動物園のアシカがあげる竿燈について紹介した。

さて、アナウンスと言えば1人マイクの前に立つ姿がイメージされがちだが、そこに至るまでには多くの人の力が必要になる。取材先の方、読みを講評しあう仲間たち、多岐にわたる指導をしてくださった顧問の先生。私たちが手にしている1枚の原稿には、そんなたくさんの人の思いや努力が詰まっているのだ。そして、その思いをまたたくさんの人へ繋げ伝えていく。それがアナウンスの神髄であり、放送活動そのものの神髄だとも思う。人と人を繋ぐことが本質である以上、放送を担う私たちには相応の責任が生じる。題材を深く理解し、視聴者に正確に伝えなければならないのだ。この責任を全うするのは大変だが、その分発表や作品を見た人から「面白い」の一言を貰えたときの喜びは一入だ。やはり私たちは人との繋がりの中でこそ、輝ける。

そんな私の高校での放送生活も、この総文をもって幕を下ろした。しかし幸いなことに、やりたいこと、やらねばならないことはまだまだたくさんある。この先もマイクの前に立つことを夢見て、私の挑戦は続く。

3年間を捧げた放送室にて

令和2年度
年会費納入のお願い

会員の皆さまには日頃から同窓会活動に深いご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

さて、秋田高校同窓会の運営は、その財政基盤のほとんどを会員の皆さまの年会費に依存しております。円滑な同窓会活動を推進するため、令和2年度の年会費納入にご協力を賜りますようお願い申し上げます。同封の払込取扱用紙でコンビニまたは郵便局で納入くださるようお願いいたします。**経費削減のため、できるだけコンビニ（期限あり）を優先してご利用ください。**

また財政委員会では現在、会費の口座自動振替を進めています。納入手続きの煩わしさを解消し、〝うっかり忘れ〟を防止するとともに経費節減を図るためです。

口座自動振替をご希望の会員は払込取扱用紙にある金融機関名（秋田銀行、北都銀行、ゆうちょ銀行）を選び、所定の欄にご記入のうえ同窓会事務局にお申し込みください。その際、今年度分の年会費はコンビニではなく、最寄りの郵便局からお振り込みいただくようお願い申し上げます。

年会費に関する取り決めは以下のとおりです。

1. **年会費は会員1人当たり2,000円とする。**
2. **年会費の請求は単年度のみとし、過年度分は請求しない。**
3. **母校卒業後4年間は年会費の納入を免除する。**

（財政委員会）

哀悼

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

敬称は省略させていただきました

平成30年

5月 須田 孝雄（昭43）
10月 藤原 健造（昭42）
12月 清水 高義（昭20④）

平成31年

1月 小玉 久男（昭37）
石山 俊一（昭29）
4月 小川 誠（昭35）

令和元年

5月 渡辺 定恭（昭34）
7月 鎌田 明徳（昭44）
岡江 輝夫（昭15）
金子 邦雄（昭22）
9月 石山 純一（昭31）
10月 星宮 勝美（昭53）
堀井 洋一（昭41）
11月 石井 一錬（昭30定）
近江谷金一（昭34）
12月 鈴木 壽（昭29）
渡部 博夫（昭33）
長澤 昭治（昭21）

令和2年

1月 小坂 栄一（昭21）
鈴木 立二（昭27）
保坂 弘（昭22）
田中 治子（昭30）
小田野 直（昭16）
渡部 淳（昭45）
江見 正民（昭21）
2月 横内 正純（昭26）
田辺 元夫（昭28）
3月 鎌田 新（昭29）
加藤 明男（昭27）
嵯峨精之助（昭28）
木村 健介（昭39）
畠山 寛司（昭45）
佐藤 久（昭13）
阿部 一（昭31）
大渕洲美郎（昭29）
鈴木 良雄（昭29）
4月 金 繁美（昭30定）
小杉 祐作（昭39）
畑澤 潤一（元校長）
柿崎 正（昭31）
鈴木 隆（昭37）
本間 浩（昭52）
加賀谷清一（昭33）
田村 正義（昭39）
川村 懋（昭19）
石川 實（昭28）
進藤 久志（昭50）
渡部 剛（昭32定）
吉成俊太郎（昭26）
加藤 民樹（昭27）
菅生 茂一（昭27）
山方 次郎（昭35）
浅利 経一（昭27）
5月 髙泉 宏作（昭23）
秋山まり子（昭29）
三浦留美子（昭55）
山崎 英郎（昭19）
佐藤 忠佳（昭29）
冨野 和夫（昭34）
菅原 道美（昭22）
青山 成美（昭20⑤）
伊藤 公夫（昭44）
6月 最上 操一（昭21）
相原 博（昭48）
進藤 誠治（昭32）
牧村 和義（昭27）
大塚勝太郎（昭21定）
神部 欣也（昭36）
7月 保坂 常弘（昭37）
河田 和雄（昭26）
下田 正和（昭31）
柴田貞一郎（昭32）
境田 幹正（昭28）
8月 高橋 健（昭47）
五十嵐三儼（昭29）
鈴木 由克（昭43）
八代 梓（昭22）
千田 邦宏（昭38）
厨川 克巳（昭16）
小笠原康友（昭28）
千葉 豊（昭28）
中道 琢郎（昭25）
後藤 忠久（昭29）
9月 湊 邦夫（昭32）
伊藤 和暁（昭30）
木下 孝子（昭33）
松井 節雄（昭30）
大嶋 洋三（昭26）
川和田幸雄（昭27定）
佐藤 時幹（昭17）
荒谷 倫二（昭22）
長崎 忠夫（昭32）
横山 悦夫（昭27）
藤原 銕雄（昭28定）
小野 健爾（昭28）

注（昭20④）は旧制中学を4年で卒業、（昭20⑤）は5年で卒業したことを表す

A·B·C
株式会社
秋田物流センター
代表取締役
齋藤靖之（平成7年卒）
本社／物流センター御所野湯本
〒010-1415 秋田市御所野湯本二丁目1番2号
TEL(018)853-7211 FAX(018)892-6792
https://abc-butsuryu.com

Design and Consulting Company
casane tsumugu LLC
casanetsumugu
田宮 慎 | 平成7年卒
https://casane-tsumugu.jp

歯科口腔外科・一般歯科・小児歯科
大渕歯科醫院
本校学校歯科医
大渕 義孝（昭和42年卒）
大渕 泰彦（平成7年卒）
〒010-0001
秋田市中通4丁目7-35 秋田市民市場2F
TEL 018-835-3711 FAX 018-838-7333
https://ohbuchi-dental.jp

HONDA
Honda Cars 横手中央
代表取締役社長
佐々木一平（平成7年卒）
株式会社ホンダパドック
〒013-0063 横手市婦気大堤字街道下27-6
TEL.0182-33-5400 FAX.0182-33-2210
https://dealer.honda.co.jp/hondacars-yokotechuo/

秋田高校同窓会だより vol.108
2020年11月22日
AKITA HIGH SCHOOL alumni association news

秋高NOW（ナウ）

書道パフォーマンス2020

書道部

私たち書道部は、3年生7人、2年生2人、1年生1人の計10人で活動してきました。顧問は打川史子先生です。

書道部の活動は、主に秋高祭での書道パフォーマンスや作品展示、うちわ販売です。その他の活動は個人ごとの活動で、全県高校席書大会や高等学校総合美術展への出品、篆刻講習会への参加などです。

今年度は残念ながら秋高祭が中止になってしまい、3年生にとって最後の活動ができなくなるピンチになりました。せめて書道パフォーマンスだけでも全校生徒の前で披露したいという思いが部員全員で一致し、7月下旬に書道パフォーマンスをする機会を特別につくっていただきました。

練習では、パフォーマンス用紙の製作に苦戦したり、手足が真っ黒になったりと大変なこともありましたが、笑いが絶えず、たまにおいしい差し入れが入ったりして、とても楽しいものでした。本番では秋高祭と同じくらいたくさんの生徒や先生方が観に来てくださり、3年生にとって最後のパフォーマンスが華やかで忘れられないものになったと思います。

3年生が引退した今、部員は3人しかいません。これからは新入部員の勧誘にも力を入れ、書道部を活気あるものにしていきたいと思います。

〔2年　藤盛 愛加〕

完成作品と3年生部員

全県優勝を掲げて

陸上競技部

私たちは、来年の全県優勝を掲げて日々練習しています。今年は、コロナウイルスの流行で総体や合宿ができないなか新体制となったため、チームとしてほぼ一からのスタートでした。さまざまな課題がありましたが、その課題を通し、個々で陸上についてより深く考えることで、チームとしてまとまりが出てきたと感じています。まだまだチームとしての課題は多くあるので、現状に満足せず個人としてチームの一員として何をするべきか考え、謙虚さをもって部員一同練習に励んでいきます。

〔男子主将　2年　神部 亨〕

短距離が誇る精鋭たち

私たちは、全県総合優勝4連覇を目標にしています。本来であれば、これは先輩たちと成し遂げるはずだった目標です。コロナの影響で大会が中止になり、私たちは先輩の思いとともにこの目標を受け継ぎました。正直、メンバーも実力も足りず、身に余る目標ではあります。しかし、今のチームは、逆境に負けず、努力を怠らず、常に挑戦し続ける強い精神力とお互いを支え合う団結力を持っています。これからの厳しい冬練習を通して、全員が大きく成長し、全県優勝をつかみとれると信じています。

〔女子主将　2年　金森 陽菜〕

事務局通信

コロナ禍の中、同窓会本部の理事会・総会は中止となり、支部総会や年次同期会の開催も皆無の状況となりました。（東京同窓会だけはリモートでの総会を開催。）

とりわけお気の毒だったのは、念入りに準備を進めておられた傘寿（S35卒）、喜寿（S38卒）、卒業10周年記念同期会（H23卒）の皆さんでした。

来年は是非疫病退散で、盛大に諸行事が開催できることを願うばかりです。

なお、理事会・総会に替えて、一般会計の予算決算を記載しました。ご参照ください。

（柏）

編集後記

今号は「つどい」と「スクールトピックス」を1ページにまとめ、12ページ建てとした。

また表紙は、ドローンで撮影した校舎写真を水彩画風に加工したものとした。新型コロナウイルス感染の拡大で、外出自粛や宴会・飲み会を控える動きが強まり学校行事も軒並み中止となったための対策として試みた。一日も早く、世界中が安心してにぎわえる日が来ることを願う。

（菅）

発行者／秋田県立秋田高等学校同窓会　秋田市手形字中台1番地
電話 018－832－9553　FAX 018－832－9588
印　刷／秋田協同印刷株式会社